

[Q&A]

1

共学化にともない、校名や教育目標は変わるのですか？

共学化した法政二中高の教育理念や目標は変わることはありません。今回の学校改革はこれまでの本校の歴史的蓄積を継承しながら共学化することで、新たな可能性を広げるための改革です。したがって学校名も全国区で親しまれている「法政二高」「法政二中」を受け継ぐ「法政大学第二中・高等学校」であり続けます。

2

2016年度の校舎はどうなりますか？校舎は移転するのですか？

現在の敷地に新校舎を建築します。詳細については現在検討中です。計画が決まりましたら、その都度ホームページやパンフレットなどでお知らせいたします。2014年度より一部の校舎が完成し、順次利用する予定です。なお、新校舎の建築の際は、現在の校舎を利用しながらの建て替えとなる予定です。

3

2016年度の制服はどうなりますか？

共学化にともなう制服については現在検討中です。詳細が決まりましたら、その都度ホームページやパンフレットなどでお知らせいたします。なお、2013年度に入学する中学生・高校生の制服は変わりません。

4

共学化にともない入試制度は変わりますか？

また、男子の募集、女子の募集はどのような割合、人数になりますか？

2016年度以降の入試制度については、現在検討中です。詳細が決まりましたら、ホームページやパンフレットなどでお知らせいたします。

最新のニュースはHPで

二中高改革特設ページが開設されます。二中高改革の最新情報をご覧ください。

<http://co-ed.hosei2.ed.jp/>



「学校改革プロジェクト」特設サイトでは、プロジェクトの進捗状況や、最新情報を随時更新してゆきます。お使いのRSSリーダーに登録することで、特設サイトの更新情報が自動的に届けられるので大変便利です。また、「Twitter」「Facebook」の共有ボタンも実装。プロジェクトの情報をお知り合いの方に伝えたいときはぜひご活用下さい。

アクセスも抜群な武蔵小杉

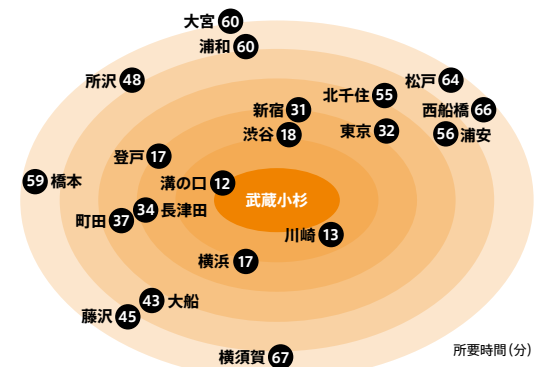
最寄り駅の武蔵小杉は、横浜・渋谷から20分

- JR南武線
「武蔵小杉駅 西口」下車 徒歩12分
 - JR横須賀線(総武快速線・湘南新宿ライン直通)
「武蔵小杉駅 横須賀線口」下車 徒歩15分
 - 東急東横線(みなとみらい線・東京メトロ日比谷線・東武伊勢崎線直通)
東急目黒線(東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道および都営三田線直通)
「武蔵小杉駅 南口」下車 徒歩10分
- ※南武線・横須賀線・東横線・目黒線とも特急をはじめとした全列車が武蔵小杉駅に停車します。

2012年以降、武蔵小杉駅へのアクセスがより便利になります！

- 2012年 東急東横線と東京メトロ副都心線
(東武東上線・西武池袋線) 直通予定
- 2015年 JR横須賀線・総武快速線、
湘南新宿ラインと相鉄線 直通予定
- 2019年 東急東横線と相鉄線 直通予定

交通網の整備により、東京都東地区・城北地区・千葉県東京隣接地区・埼玉県東京隣接地区・神奈川県西部などからでも1時間通学圏内になります。



武蔵小杉からの新たなステージ

付属校であることの可能性

H O S E I

法政大学 第二中・高等学校

2016年度
中高同時共学化・
新校舎建築

法政大学 第二中・高等学校

〒211-0031 神奈川県川崎市中原区木月大町6-1 TEL:044-711-4321(代)





法政大学 総長
増田 寿男



法政大学第二中・高等学校
学校長 付属校担当理事
榎本 勝己

法政大学は、2007年にそれまで吉祥寺にあった一中高を三鷹市に移転致しましたが、今回の二中高の校舎建設・共学化はそれに続く付属校改革の第2ステージとなります。70年を超える伝統と、地域の皆さんと築いてきた繋がりを大事にしながら、付属校が持つ可能性を最大限に追求した学校改革です。

現在、法政大学では、自校教育科目として「法政学への招待」を開講するなど、大学のアイデンティティを確立する取り組みを進めています。中学・高校の段階から、法政の息吹を受けて育ち、21世紀の法政大学を牽引するような諸君が、武蔵小杉の地から多数生まれてくることを期待しています。

地域
地域と連携し、
共に歩む
学校づくり

豊かな学び
実験・実習・体験に
支えられた深い理解、
調べる・考える・
発表する・討論する
力の育成

国際化
国際的視野の
涵養と「国際化」の
推進

環境
暮らし・地域・
学びを結んだ
環境教育

中高大連携
「法政」ならではの
中高大の連携

**文化・
スポーツ**
武蔵小杉を法政の
文化・スポーツの
新たな創造の場へ

社会や人とつながる 「自分」づくりの原点

これからの社会を担う人格の育成

- 学習と自主活動との高い次元での両立
 - ・付属校ならではの「学び」を追究し、学力向上を重視
 - ・自主的精神と自治的能力を持ち、高い目標を持った自主活動
- 中高大の連携と幅広い進路開拓
- 社会や地域に根ざした教育

新しい「法政大学第二中・高等学校」

伝統と蓄積を土台とした「共学化」

法政大学第二中・高等学校は、「自由と進歩」の理念をもつ法政大学の薫陶を受けながら、「男子校」として70年に及ぶ歴史をもち、4万人を超える卒業生を輩出し、確固たる地位を築き上げてきました。共学化することによっても学校の理念や教育目標が変わることはありません。

今、世界も日本も大きく変動しています。ますます複雑化していく社会の中で、生徒一人一人が、様々な人々とのつながりを大切に、試行錯誤や模索を通じて「自立的で人間力豊かなリーダー」となり、今日的な課題を主体的・能動的に担う人格となっていくことを目指します。

付属校ならではの「学び」を追究し、 スポーツ・文化活動の拠点となる キャンパスづくり

新しい法政二中高は付属校ならではの「学び」を追究し、「学習と自主活動との高い次元での両立」を掲げ、「社会や地域に根ざした教育」を行っていきます。

新たな共学校として、これまで以上に学習・自主活動で力を発揮し、法政大学そして武蔵小杉の文化活動・スポーツの拠点としての役割を果たせるキャンパスづくりを行います。